

目標達成計画

作成日: 平成 21 年 10 月 25 日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	49	季節に応じて花の散策に出かけたり外食や日常の買い物に出かけていただいている。また天候の良い日には散歩や日光浴を行っているが個々の認知症の状態や身体機能の低下により個々の希望にそって支援できていない。	気候の良い時期には個別や少数人数で季節を感じながら、ゆったりとした気持ちで散歩や日光浴をしたい。	ご利用者それぞれの生活暦を確認しその方に合った外出機会を考える。日々利用者の希望を聞きけるよう対応する。散歩や日光浴のチェック表を作成することで定期的な散歩や日光浴を促す。	2ヶ月
2	20	馴染みの人に会えたり馴染みの場所に行くことができていない。	馴染みの人に会えたり馴染みの場所に行く機会を作る。	個々の生活暦を確認したり、ご家族から馴染みの人や場所を聞く。馴染みの人には来訪していただいたり、場所には出かけられるようご家族と相談していく。	6ヶ月
3	50	財布を自分で所持されている方もおられるが一緒に買い物に出かけても「買うものがない」と言われ購入につながらなかったり、財布に関心がなく居室に閉まったままである。	買い物時には財布を持参し支払いして頂く。現在財布を所持されていないご利用者にも希望や力に応じて所持していただく。	ご本人の必要な日用品や嗜好品を買うことで買い物の楽しみや年齢を重ねてもまだ自分で出来るという自信をつけていただく。買い物時には自分の財布から支払いをしていただけるよう品物選びや計算の支援する。	6ヶ月
4	51	ご家族には絵手紙や年賀状、便りを送付しているがご本人の兄弟や知人には送付できていない。	兄弟や知人の方々にも絵手紙や面会後のお礼のはがきなどを送付する。兄弟や知人の方々との手紙やはがきのやり取りができたり、互いの生きがいにつながってほしい	身元引受人にご利用者から便りが届いても支障のない方々を確認していただき、個々の能力に応じて、絵手紙などの便りを作成していただく。疎遠になっている方には近況の写真などを添えるなどの工夫も一緒に考える。	6ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。